



運動失調症： 患者さんが知っておくべきこと

運動失調症とは何ですか？

運動失調という言葉はギリシャ語が由来で、「秩序なし」という意味です。運動失調とは、ねめらかでない不器用な動きとバランスをとることが困難になった状態です。運動をなめらかに行うためには、脳の複数の部位が連携して機能する必要があり、そのうち1つの領域でも傷害すると運動失調につながります。医師は、運動失調が脳、脊髄、または末梢神経の機能障害によって引き起こされているかどうかを判断しながら診察をします。運動失調の原因として一番有名なのは小脳です。

運動失調症はどのような症状ですか？

- 立っているときにバランスが取れない
- 歩行困難：
 - 両足を広げないと歩けない
 - 左右に揺れたり転びやすくなったりする
 - まっすぐ歩くことができない
 - 不安定のため転倒する
- それぞれの運動が協調できず不器用な手の動き
- 目標に到達する時に悪化する震え(腕、脚、頭、さらには全身に震えが出る可能性があります)
- 不明瞭な話し方
- 目の動きに問題を認め、物が二つに見えたり、ぼやけたりすることがあります
- めまい

運動失調症の原因は何ですか？

運動失調は神経症状の一つであり、病気ではありません。以下のような原因が挙げられます。

- 腫瘍、脳卒中、頭部外傷、感染症などによる脳の損傷
- ビタミンB1、ビタミンB12、ビタミンEなどのビタミン欠乏症
- フェニトイン、カルバマゼピン、バルビツール酸塩、鎮静薬、一部の抗生物質、リチウム、アミオダロン、アルコールなど、薬物や毒物の影響
- 多発性硬化症、腫瘍に対する免疫反応、脳血管炎、セリアック病などの自己免疫疾患
- 甲状腺機能障害や低血糖などの代謝性疾患
- 多系統萎縮症、脊髄小脳失調症などの神経変性疾患
- 遺伝性

運動失調症はどのように診断されますか？

運動失調症状を診断するために、家族歴などの病歴が重要です。また、詳細な神経学的検査はもちろんですが、必要に応じて以下のような検査が行われます。

- 画像検査：頭部コンピューター断層撮影(CT)または頭部磁気共鳴画像(MRI)や脊椎MRI
- 血液、尿、髄液検査
- 血圧、排尿機能検査
- 心臓機能検査
- 神経伝導検査と筋電図検査
- 認知機能検査または神経心理学的評価
- 眼の評価
- 遺伝子検査

運動失調症の治療はありますか？

運動失調の治療は原因によって異なります。運動失調が薬物や毒物が原因の場合、暴露を止めると運動失調が改善する可能性があります。特定のビタミン欠乏症、腫瘍、自己免疫の問題、または代謝性疾患の場合についても原因を治療することで改善する場合があります。一部の遺伝性運動失調症には、特定のビタミンや薬物治療が有効な場合もあります。

特定の治療法がない場合、リハビリテーション(運動療法、作業療法、言語療法)により機能と生活の質の改善が期待できます。